

国劳仙台

No. 2533
2008年10月25日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

宮城県集会所

集会は冒頭にビデオ「足跡二部後編」が上映され、当時の国労攻撃などが映像を通し伝えられた。

集会は平和労組会議菅原事務局長の司会で開会、主催者を代表して及川平和労組会議議長からは「一九八七年国鉄の『分割・民営化』攻撃が今日の出発点である。国労の問題だけではない、全体で跳ね返そう。解散総選挙が予定されており、勝



挨拶する及川平芳議長

「原審判決—α」それぞれの主張に乖離があり、入り口から厳しい状況。ここまでこられた要因は、裁判、政治、ILO対策と大衆行動が生きたから。まだ予断は許さない。手続き上、結審は12月24日に決定したが、それまでの間にも話し合いの継続を期待している。国労の立場は、解決要求実現に向け一気呵成に求めている。10・24集会の開催、そ

日頃のご支援に感謝申し上げます。22年、1047全体では49名が他界している。昨年もこの場で報告させていただいたが、闘いの積み上げが図られた。まずは裁判の判決が1月・3月と二つ出されている。弁護士費用込み550万、もう一つは不当労働行為に触れず、時効論で逃げ。1月の判決を受け、政治対策として国

報告 の前段に54箇所での地方集会のエネルギーを集約していく。11月9日

が見込まれたが3月の判決で止まった。しかし、その後7月14日、南裁判長からの提案、15日の冬柴大臣発言として到達点を作った。まだ、政治の責任に踏み込んでいないが、今日まで司法に任せてきたものが変化している。

話し合いの経過については、裁判所を介して「金銭のみ」「一括解決したい」

か16日に総選挙が予想されている。国民が最低限の文化的生活が保障される社会を実現させるために、政治の流れを変えなければならない。総決起の場にしていきたい。

明けない夜はない、その兆しが今生まれている。闘ってよかった、支援してよかったと言える日を迎えられるよう精一杯闘う決意である。

福島県集会

仙台闘争団からは高橋団長と佐藤昭一団員が参加し高橋団長から決意表明が行われた。最後に橋本仙台地本委員長が御礼と集会参加の要請などを行い、大沼副議長提案の集会宣言を主体で採択し、集会は成功裡に終了した。

一〇・二四中央集会の成功
に向け総力を結集しよう！

仙台闘争団からは高橋団
長と左藤昭一団員が参加し

水戸地本の合同で開催され、一八八名が結集した。

集会云は、鹿島福島県平和フォーラム事務局長の司会で開会し、佐藤水戸地本委員長が開会の挨拶おこなった。主催者を代表して福島県平和フォーラムの浦井代表が「長期の闘いになって

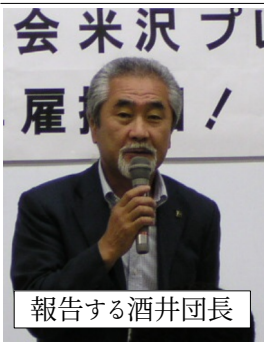
米沢地区集会

一〇月一日、国鉄闘争支援置賜地区共闘会議主催による二〇・二四中央大集会に向けた「米沢プレ集会」が米沢市置賜総合文化センターで開催された。

冒頭、佐藤清蔵議長の挨拶があり、続いて山形県支部原田委員長から取り組みに対するお礼、また鉄建公団訴訟原告団酒井団長と音威子府闘争団杉山事務局長から経過と決意が述べられた。

沼澤事務局長の集約では、本日の集會に置賜各地から約七〇名が参加し、自治労置賜総支部からは闘争支援カンパが寄せられたこと。

また一〇・二四には大型バスで五〇名規模の参加をすることが決定していると報告がされた。



報告する酒井団長



決意表明する仙台闘争団高橋団長

山形県集會

今の労働者攻撃も国労問題も本質は同じ！

一〇月二日、山形市「大手門パルス」において、山形県平和センター主催による『「今こそ政治決断を！」JR採用差別問題の解決要求の実現をめざす山形県集會』に、国労組合員と共闘の仲間ら約百名が結集した。主催者を代表し、県平和センター門脇議長代行は「国鉄の首切りが民間の首切りへとつながっていった。現在様々な労働者が国から攻撃を受けているが、国労の問題と本質的に同じ問題だ。是非この問題の早期解決につなげていきたい。」と挨拶。

続いて国労本部・望月執行委員がこの間の経過から現在の到達点、今後の課題や取り組み等を述べ「この間、政治的な解決のチャンスはあったが日替わりの政府・閣僚が変わっていく中で、進んでいない。この選挙闘争を絶対に勝利して政権交代を実現させ、一日も早い解決へとつなげていきたい。選挙準備や一〇・二四集會と日程的にきついが集會の成功に向け引き続き支援をお願いしたい。」と結んだ。

〇連帯する仲間の報告

次に三単産より以下の報告がされた。

まず、全国社会保険労働組合山形支部・安達支部長より現在、社会保険労働者にかかけられている攻撃の実

態、日本年金機構設立時の職員採用（正規職員・有期雇用化職員、配置転換、勧奨退職、分限免職（民間の整理解雇に相当））などの問題点等が話された。

続いて、全林野山形県協議会・佐藤議長より、〇六年の「行政改革推進法」の成立により、業務と要員を一般会計と独立行政法人化の二分化の方向性が示されており、国有林野事業の二分化を許さず全一一般会計で管理・運営することを求め取り組みを進めているが、政局によっては組織・雇用問題に波及していくことも懸念され、職場では不安や動揺が広がっているとの報告がされた。

更に山形県教職員組合協議会・北畠事務局長からは、中山前大臣の「日教組は日本のガン」発言に触れ、新自由主義の描く学校像「教育はサービス（商品）、教育を受ける権利、教育を受けさせる義務」私的サービスへ取り替えるといった「教育再生会議」路線の概要や、全国学力テスト、教員評価制度、教員の人事管理、新たな職の導入など、現在の学校を取り巻く状況とその問題点が報告された。こうした「成果主義教育管理」に対し日教組・山教協が考える教育政策①権限を現場に②中間管理職を縮小し、現場を厚くする③教員評価なし④教育の質の保証⑤私的サービスから社会資本としての教育へ、等が報告された。この三つの報告を受け、「今、労働者にか

けられている攻撃は、国鉄改革に端を発し、本質的に一〇四七名の首切りと同じものである。ぜひともこの闘いに勝利し、流れを変えていく必要がある。」と集約され、全体で確認し合った。

〇闘争団の決意報告

続いて、国労音威子府闘争団・杉山事務局長から、この二〇数年間の支援に対する御礼と「この二・三年間、子供に進学をあきらめさせるなど、家族に大変な我慢と犠牲を強いてきた。雇用・年金・解決金の三要求は何としても勝ち取らなければならぬ。同時に一日も早く解決したい。四者四団体の枠組みで解決を目指してきた取り組みも、東京高裁からの話し合い解決提案や冬柴元国交大臣の『誠心誠意努力する』発言を引き出した。政治が混沌としている現状にあっても、『路頭に迷わない解決』をさせるために、いまこそ中央大集會の成功で世論を巻き起こし、政府・運輸機構に決断をせざる時。皆さんのお力添えをお願いします」と力強い決意表明がなされた。そして原田眞平和センター幹事が提起した集會宣言を採択し、最後に門脇議長代行の「団結頑張ろう」で閉会した。

塩釜地区集會

人権を守る闘いと位置付け国労を支えてきた！一〇月七日、塩竈市マリ

平和労働会議主催による「JR不採用事件の早期解決を求める塩釜地区集會」が七〇名の参加者を集め開催された。

地区平和労働者を代表し庄司議長は、「地区平労は八月に総会を開催しJR不採用問題を含めた運動方針を決定し、人権を守る闘いと位置づけ国労を支えてきた。本日集會で現状認識を共有化したい。」と挨拶。

〇連帯する会から報告

情勢報告として連帯する会の山下事務局長からは「今日までにない局面に

来ている。鉄道・運輸機構との話し合いは厳しいといわれているが、入り口はそんなもの。闘争団の現状はもうこれ以上放置できない所に来ていて、もう少しの上の力を振り絞って何としても解決したい。」と支援する側からの報告がされた。更に地方本部橋本委員長がこれまでの支援に対する御礼を述べ、平野伊藤副議長長の集會宣言を全体で採択し、一〇・二四集會を含めた今後の取り組みについて全体で意思統一し閉会した。

小牛田地区集會

一〇月九日、国労小牛田分連協は、美里町労働会館において「JR不採用事件の早期解決を求める小牛田地区集會」を三五名の組合員の結集の下に開催した。

冒頭、宮城章幹事会代表から「JR不採用事件の解決局面を組合員全体で共有化し、具体的取り組みを成功させよう」との挨拶があった。

情勢報告では、東日本本部山根法対部長から、①不

採用事件における闘いの到達点と今後の取り組みについて②東日本本部として、JR東日本における勤務評価者、社員の個人情報管理者について、取扱者の限定を求め中労委へあつせん申請したとの報告が行われた。

地方本部からは大沼書記長が参加し「闘争団組合員を支え、一日も早い解決に結びつけるために組合員のもう一踏ん張りの力を貸してほしい、地方本部はその先頭で頑張る」との決意を全体で確認し散会した。

第9回闘争団チャリティーゴルフ大会を開催

9月30日、仙台南ゴルフ倶楽部において、第9回ゴルフ大会が開催された。秋晴れの中、ゴルフ愛好家たち57名が参加しプロ顔負けの腕前を競い合った。開会式では、大村実行委員長（仙台保線区分会）から「分会レクで肉離れした組合員がいた、けがの無いように大いに楽しみましょう」とあいさつがされた。



7時46分に1組目がスタートし、ドラコンで「飛距離

は負けない」とばかりに力んでOB連発する力自慢や、ニアピン競争ではショートホールを慎重に刻む妙技を披露するなど、多彩な技を繰り広げ大いに盛り上がりを見せた。

こうした中、ラウンドする仲間の「口撃」に負けず冷静に自分のゴルフを追求した青野恒男選手（仙・宮運輸区分会）が、第9回大会を制しチャンピオンに輝いた。ベスグロは、日夜練習を積み重ねてきた中鉢悟選手（小牛田運輸区分会）の80が光った。

表彰式に移り、実行委員長から順位の発表が行われ、優勝カップと抱えきれない賞品が手渡され、参加者全体から拍手喝采が送られた。

また、交運共済賞、石川けんじ賞の提供もあり、あわせて交運共済東北支所（盛岡）工藤職員の参加もあった。閉会

式では「引き続き共済事業活性化に向け現場の協力を」とのあいさつを受けた。

最後に大沼書記長からは「JR不採用事件の解決局面にある今、全組合員が力を出し切ろう」「国民的課題の前進、政治解決のために政権交代につなげる衆議院選挙を勝ち取ろう」と締めくくられ、大会の一切を終了した。

闘争団チャリティー募金は16,320円を集計し、後日、就学等援助基金へ送金された。

ナイスショット！を連発

トップテン（敬称略）

- 1位 青野 恒男（仙・宮運輸区）
- 2位 横山 治男（郡山保線区）
- 3位 中鉢 悟（小牛田運輸区）
- 4位 山崎 浩（仙台建築）
- 5位 菊地 浩喜（小牛田運輸区）
- 6位 鈴木 弘文（仙台信通区）
- 7位 富山 成孝（小牛田運輸区）
- 8位 大槻 政幸（仙・宮運輸区）
- 9位 鳶 秀二（仙台信通区）
- 10位 蛭川 浩（米沢連合）

